

○ 中央環状品川線とは・・・

中央環状品川線は、中央環状線の南側部分を形成し、起点の品川区八潮三丁目で 高速湾岸線から分岐したのち、目黒川及び環状第6号線（山手通り）の地下空間をトンネル構造で北上し、目黒区青葉台四丁目で中央環状線及び高速3号渋谷線に接続する延長約9.4kmの路線です。

本路線が完成することで、中央環状線（全長約47km）が完成することになり、首都高速道路ネットワークが効率よく機能し、特に、都心環状線に目的地を持たない交通が中央環状線へ迂回、分散することにより、都心環状線の慢性的な渋滞の緩和に寄与します。



中央環状品川線 位置図



中央環状品川線 平面図